

市街地再開発とまちづくり

シンポジウムで特色ある提言



熱心な討議が交わされたパネルディスカッション

向日市の未来を探るまちづくりシンポジウムが10月30日(日)、市民会館で開催され、市民約200人が参加し、講演やパネルディスカッションを通じて、まちづくりについての理解を深めました。

このシンポジウムは平成3年度に実施した都市活力再生拠点整備事業調査結果をうけ、阪急東向日駅西口地区の整備を重点的に進め、同時に向日市全体のまちづくりを考えようという趣旨で開催されました。

地元への説明会や先進地視察等を行ってまいりましたが、公開でシンポジウムを開催するのは、今回が初めてです。

基調講演では、本市の市街地再開発の調査を行っている藤田邦昭都市問題経営研究所所長から「街づくりの発想」と題して、今後のまちづくり

の在り方について提言がなされました。続いて山下修京都新聞社論説委員長の進行でパ

市民憲章モニュメント除幕式 ブロンズ像「陽光」のお目見え

図書館玄関口



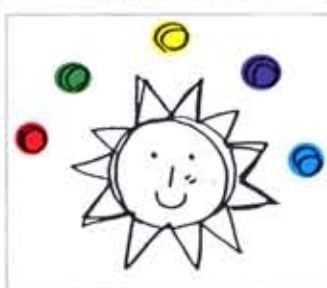
除幕式で祝辞を述べる民秋市長

ネルディスカッションが行われ、市側から鈴木助役が「阪急東向日駅西口は、向日市にふさわしい玄関口として整備が必要」と事業の重要性を説明しました。それを受けて、清水勝三都市計画審議会会長、高田七重向日市女性の会「さわやかネットワーク」世話人、玉城教安乙訓青年会議所副理事長らから「住んで良かった」といえるまちづくり、「人に

優しいまちづくり」「まちづくりは人づくり」など、それぞれの立場から、特色のある提言がなされ、藤田邦昭都市問題経営研究所所長を交え討議が行われました。

最後に、これらの提言が実現にむけて前進するよう市民も共に努力することが大切であると締めくくり、幕を閉じました。

の円が、はじけ飛ぶように配したもので、それぞれが、市民憲章の条文を表しており、市民の皆さんに親しまれるものと期待されています。



市民憲章のシンボルマーク

平成6年度緑化ポスター 優秀作品決まる

向日市まつりで展示

市長賞
林 飛 恵 理 さん
(第2向陽小学校)

教育長賞
長谷川 裕 次 くん
(第4向陽小学校)

都市の緑化推進事業として市が募集していた「緑化ポスター」の審査会がこのほど行われ、市内の6小学校6年生から応募のあった603点の作品の中から、市長賞に第2向陽小の林飛恵理さんの作品が、教育長賞には第4向陽小



林飛恵理さんの作品

の長谷川裕次くんの作品が選ばれました。この他、入選作品6点、佳作20点が選ばれました。

市長賞に選ばれた林飛恵理さんの作品は、来年度の緑化月間啓発ポスターとして使われます。



長谷川裕次くんの作品

また、市民憲章推進のシンボルマークも作製されました。デザインは太陽の周りに5個

の円が、はじけ飛ぶように配したもので、それぞれが、市民憲章の条文を表しており、市民の皆さんに親しまれるものと期待されています。

パソコンで算数 向日小学校

向日市内では初めての、パソコンを導入した授業が向陽小学校で行われました。

導入されたパソコンは児童用12台、教師用1台で、5年生の児童70人を対象に算数の授業に使用されました。

今回の授業は三角形の面積を計算するもので、先生が開発した図形問題用のソフトを使って、児童たちは真剣に疑問を次々と解いていました。

また、難しい問題で解き方が分からない場合にはヒントが表示されるなどの工夫が盛り込まれており、ゲーム感覚で学習ができる楽しい授業となりました。

学校では、今後もソフトの開発を行い、充実した授業を目指します。

星と語り(らう)

シリーズ06

秋も深まり、朝夕は冷える季節になりました。少し厚着をして明け方の空を眺めて見ましょう。

夜明け前の薄明時(午前5時頃)、東の空に水星と金星がみえます。

水星は地球から見ると太陽からあまり離れないので見られるチャンスはなかなかありませんが、今月の初

一方、金星は11月15日頃から見え始めます。位置は水星より少し南の東南東。光度はマイナス4等級と際立って明るく、日の出直前の明るい空でも見つけることができます。なお、金星はしばらく明るさを増し、12月9日に最大光輝、マイナス4.7等級に達します。

この頃には薄明時から金星を追い続ければ日の出後の青空の中でも白い小粒の光を肉眼で確認することもできます。

このまち・ふるさと・わが兄妹

'94 向日市まつり

向日町競輪場

雨天決行

11月19日(土) AM10:00~PM4:00
カラオケ大会など

11月20日(日) AM10:00~PM3:00
セララムショーなど